

漢方
小児科 婦人科
内科 産科
浮田医院
だより



第 29 号
発行所： 漢方 浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
http://www.wu.biglobe.ne.jp/~ukita/
e-mail:kanpou@mui.biglobe.ne.jp
発行日：平成13年8月5日(日)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ(29) 標治と本治

蒸し暑い季節ですが、水分を適度に摂り、体力の消耗を防いでください。6月の北海道。涼しい空気、広い大地、ガラス製品、オルゴール・など多くの思い出が作れました。日本東洋医学会、冷えのセッションの座長を務めた時、体温測定(耳、腋、足)、サーモグラフィ、動脈血酸素分圧などが話題に上りました。当院では、体温測定を診療に取り入れています。学会の合間を縫って、大学時代の旧い友人や東洋医学を志す医師らと親交を深めてきました。

8月、新しいホームページに更新します。漢方部門と産婦人科部門に分け、皆様の質問にお答えする形式を取り入れました。多くの方がアクセスし、当院を知って頂きたく思います。

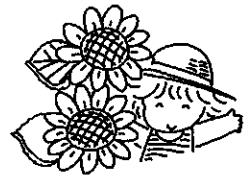
今月は、標治と本治についてお話しします。

アトピー性皮膚炎を例に上げ

てみます。胃腸の弱い方、精神的ストレスの多い方、呼吸器の弱い方・・・が多いように思われます。胃腸の治療をして、アトピー性皮膚炎を治す場合、これを本治と言います。これに対して、皮膚の痒み、赤み、ジ

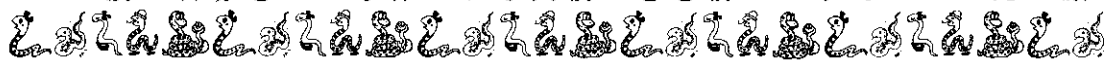


「ウィルソン株」(屋久島)



クジク、カサカサ・・・の治療を主として、胃腸やストレス・・・などのことはあまり考えずに治療することを標治と言います。漢方薬の治療は、どちらも大切で、症状を和らげながら、根本的な治療をしていかななくてはなりません。では、例をお示ししましょう。

19歳、女子大生、子供の頃から乾燥肌。疲れたり、試験の前に、皮膚が痒く赤く、引っ掻き傷からジクジクした汗が出てきます。特に、首、背中、肘、膝、手、足がひどくなります。高校3年の夏より、症状が悪化。大学に入学前、少しよくなりましたが、ひとりで暮し始め、クラブ、授業が忙しく、食事、睡眠・・・が不規則になり、この1年、体中が痒く、ほてり、ジクジクしてきました。母親と一緒に来院。手も足も像の肌のようにガサガサと盛り上がり(痒疹)、かさぶた、黄色の汁でおおわれた赤茶色の皮膚をしていました。首と背中では、赤く、ザラザラで、痒みを強く訴えていました。疲れやすく、食欲が減り、寝汗、口の渇き、便秘、尿量の減少・・・も訴えました。脈は、浮、緊、





数。舌は、紅、湿厚黄苔、舌尖は赤く、舌縁はむくんで歯形ができていました。お腹は、緊張し、触れるとすぐに硬くなりました。全身カサカサで、肋骨の下やお臍の横に圧通と抵抗を認めました。皮膚の状態があまりにも悪かったので、ストレス、胃腸の弱さの治療は後回しで、皮膚の治療を優先しました。このように表面に表れた症状（この例では皮膚）を治すことを、**標治**と言います。越婢加朮湯と言う漢方薬（湯液）を1週間処方し、ジクジクの汁が減りました。次に、皮膚の赤みと痒みとザラザラの治療を目標に、消風散と言う漢方薬（湯液）を2週間処方し、赤みと痒みが減りました。汗、汁、痒みが減り、尿量も増え、少し活気が出てきました。そこで、ストレスで弱った胃や腸の働きを高めるため、十全大補湯と言う漢方薬（湯液）を処方しました。このように、体のひずんだ部分を調整して、内臓やところどころでもよくする治療が、**本治**で再発を防ぎます。4週間後、ニコニコ顔で来院された時は本人と見まがう程よくなりました。その後、体調により、黄耆、地黄、人参、紫胡、黄芩、黄連などの生薬

を増減しています。2年後、中止その後、2年経っても悪くありません。

病気の原因は、**こころ**やからだのリズムの乱れで、免疫やホルモンの働きに乱れを生じ、消化、呼吸、循環、泌尿生殖、情緒……などが異常になり、胃潰瘍、喘息、肝硬変、狭心症、子宮筋腫、アトピー、高血圧、肥満症、癌……などの病気に発展するようです。ですから、素直に、**こころ**からだの叫び、悲鳴に耳を傾けることができれば、最高です。**こころ**とからだのリズムを乱さないよう、五感を全て使ってください。音楽、絵、景色、植物（花）、かおり、味（食物）、肌……私たちの周り全てが美しく輝いています。

当院の情報を十分にお伝えするため、ホームページを更新し、**携帯電話に新しくホームページ**を掲載します。他の方に聞きにくいこと、当院で治療できるかどうかなど……色々なことを載せています。十分にご利用下さい。

こころと体を大切に！！！！

【院長】



夏 ば て

暑い夏に、汗をかき過ぎて、体の水分が不足したり、冷たいジュース類を飲み過ぎて、体がむくんだり、首肩背や手足が痛くなったり、冷房の中で体が冷えきったり、夜更かしをして、疲労がたまり、食欲が落ちている方、漢方薬で、体力を回復して下さい。



ア ト ピ ー 性 皮 膚 炎

ダニ、ハウスダスト、肉、紫外線……に過敏な皮膚は、**こころ**やからだのリズムが乱れた証拠です。私たちが本来持っている**波動**を取り戻すには、漢方薬、こころや生活のリズムを正すことです。弱くなった皮膚のケアも必要です。



慢 性 関 節 リ ウ マ チ

朝、手が強ばり、指・肩・肘などの関節が腫れたり、痛む方、ステロイドホルモンなどの治療の副作用でお困りの方、漢方薬も治療の一つとしてお考え下さい。“自然治癒力”を高め、病状の進行を押さえるのに役立つ事でしょう。この病気は、簡単なものではありません。ともすると挫けそうになるかも知れませんが、**こころ**とからだの**バランス**を取り戻しましょう。



当院の漢方治療



剤型について

- ・エキス漢方薬：**錠剤タイプ**の漢方薬と**顆粒タイプ**の漢方薬を取り揃えています。
- ・漢方煎じ薬：**良質の生薬**を組合せた漢方薬。40～50分煮て作ります。

当院の顆粒タイプの漢方薬は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、【冷蔵庫】で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の【漢方専用容器】（無料）をご利用下さい。

適応症について

- すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ、痛み、痺れ、動悸、めまい、ほてり、排尿障害、発熱・・・など全ての症状に対応できます。
- 漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、低血圧症、子宮筋腫、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、夏ばて、動悸、慢性膀胱炎、血尿、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、口内炎、口腔乾燥症、痛風、夏まけ、慢性胃炎、慢性膵臓炎、慢性胆嚢炎、胆石症、胃十二指腸潰瘍、前立腺肥大、クーラー病、虚弱児、蕁麻疹、接触性皮膚炎、にきび、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、下肢静脈瘤、上下肢浮腫、不妊症、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、産後回復不全、乳腺炎、乳汁分泌不良、乳腺症・・・等
- 漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、甲状腺疾患、高脂血症、高コレステロール血症、不眠症、自律神経失調症、鬱病、夜尿症、慢性関節リウマチ、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、抗癌剤使用時副作用・・・・・・・・・・等

エキス漢方と漢方煎じ薬について

- ・軽症、中程度の病氣：漢方製剤（錠剤あるいは顆粒）を組合せて治療します。
- ・重症の病氣やエキス漢方薬無効：漢方煎じ薬で治療します。

女性の方に限らず、**男性の方**や**子供の方**もご相談下さい（**高齢の方**、**乳幼児の方**もどうぞ）。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、便、心電図、骨塩量測定・・・・）などを利用して、【漢方薬】の決定をします。

錠剤漢方薬

皆様方のご希望に答えて、**錠剤タイプ**の漢方薬を多数取りそろえました。お気軽にお申し出下さい。

神経照射（スーパーライザー）

赤い温かい光（近赤外線）で血行をよくして、アトピー性皮膚炎、花粉症、ストレス、肩こり、腰痛、五十肩、膝の痛み、ムチウチ、捻挫・・・などの治療に利用します。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。
適応 肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛、頭痛・・・・

外用薬・点眼薬・点鼻薬

外用薬（漢方薬、アトピー用、痒み止、非ステロイド、ステロイド、抗生物質、抗真菌用、保湿用、にきび用）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、喘息吸入薬、口腔内（口内炎用貼付及び軟膏、抗真菌用、含嗽（うがい）用）、湿布薬（冷・温湿布）、痔（軟膏、座薬）など。

新しいホームページ

ホームページを更新し、**漢方のページ**と**産婦人科のページ**を作成しました。皆さま方が知りたい内容を豊富に掲載しました。是非、ご覧ください。

処置診

処置、検査、点滴、針、スーパーライザーの場合 **受診者名簿の処置診の欄に、氏名**を書き、診察券を入れて下さい。

骨量測定（DEXA）

1分で測定（極少量のX線吸収を利用）でき、結果は、直ぐお知らせします。尿で、骨の壊れ方の検査もしています。

外来休診日

8月14日（火）、15日（水）は外来を休診にします。お産などの急患は、この限りではありません。

保険証変更の方

保険証変更予定の方、保険証変更された方は、できるだけ早く、受付に連絡して下さい。**保険**が使えなくなることがあります。

駐車場

- ・北-駐車場(40台)（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東・南駐車場(11台)（終日駐車可能）

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	○	妊婦外来	○	○	妊婦外来	○	-
夕 方	○	-	○	-	○	-	-

午前の診察（月～土） 午前9:00～正午 午後の診察（月・水・金） 午後5:30～午後7:30

- ◇漢方外来：内科・小児科・皮膚科・産婦人科・整形外科・耳鼻科・眼科・・・など全科
- ◇更年期外来：更年期の方・思春期の方〔女性・男性、どなたでもお越し下さい〕（月曜日の夕方）
- ◇不妊外来：赤ちゃんの欲しい方〔ご夫婦でもお越しになれます〕（水曜日の夕方）
- ◇妊婦外来：妊婦健診・妊娠中の方：（火）午前11:00～正午は産後健診、赤ちゃん健診
- ◇助産婦相談室：妊婦相談、乳房相談、育児相談（午前8:40～午後12:30）（日程は掲示）（金曜日の午前）

前期と中期－母親教室

日時：8月28日、10月16日、12月11日（火）
 対象：妊娠7ヶ月までの方（定員5名）（無料）
 場所：当院1階 申込方法：申込ノートにご予約ください。
 皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。ティータイム、ご期待ください。

後期－母親教室

日時：8月7日、9月4日、18日、10月2日、23日、11月6日（火）
 対象：妊娠8～10ヶ月の方（定員5名）（無料）
 お気軽にご参加下さい。ご主人の参加も歓迎します。

母親教室ティータイム

“リンツァートルテ”（Linzertorte）は、リンツで生まれたジャム入りのお菓子です。リンツは、モーツアルトが新婚の時、訪れ“交響曲リンツ”を書き上げたところです。グルメの街リンツに一度訪れたいものです。

“コーヒー風パン”（pain de cafe）コーヒー風味のおしゃれなパンで、可愛い型を使って作られます。

暑い季節ですが、アルプスの山々をまぶたに浮かべながら、楽しいひとときをお過ごしください。



妊 娠 中 の 血 圧

妊娠初期～中期にかけ、血圧は次第に下り、お産が近づくと、妊娠初期の数値に戻ります。高血圧、蛋白尿、浮腫がそろえば妊娠中毒症ですが、赤ちゃんの発育や母体の腎臓、心臓、肺への影響は、特に、血圧が関係しています。高血圧は、頭痛、首や肩のこり、早朝高血圧、夜間の血圧下降の乏しさなどの症状が始まります。軽症であれば、漢方薬がよく効きますが、重症では、帝王切開でお産を早めることが必要になります。



分娩予約の手続き

当院で分娩を予定されておられる方、できるだけお早めに、受付ご予約ください。ご予約には、分娩予約カードと**予約金5万円**が必要です。予約された方には、**母と子のてびき**をお渡しします。

立合分娩ご希望の方

あらかじめ、**受付**にお申し出下さい。

赤ちゃんのビデオ撮影

院長の説明とバックミュージックが録音されます。ご希望の方は、**受付**にお申し出下さい。

大切な知識

早産マーカー(12号)NST(13号)子宮頸管細菌培養(14号)赤ちゃんの予想体重(15号)胎盤機能検査(16号)分娩予定日(17号)骨盤位(18号)食事指導(19号)妊娠中の貧血(20号)骨粗鬆症(21号)乳房管理(22号)切迫早産と膀胱炎(23号)切迫流産(24号)妊娠中の脂質代謝(25号)お産後の子宮(26号)妊娠とタバコ(27号)妊娠中の尿量(28号)

助産婦相談室

妊娠中、乳房、母乳、育児相談と健診の説明。
 日時：金曜日 午前8:40～午後12:30（無料、掲示）

赤ちゃん健診

1カ月健診、2カ月健診、3カ月健診をしています。
 日時：毎週火曜日、午前11時～正午（有料）

入院食（手作り）

心のこもった**手作り料理**です。素材、味付け、メニューなど、絶えず工夫し研究しています。

従業員募集

看護婦、助産婦の方ご連絡下さい。
 面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給